

大淀中学校の道

○ 校長室だより ○

発行 平成 26 年 2 月 7 日
校長 勝 田 昭 三

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

本年度、中学 2 年生を対象に行われました調査の結果の概要についてお知らせいたします。

実施種目、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20m シャトルラン・50m 走・立ち幅とび・ハンドボール投げの 8 種目中、「長座体前屈」を除く 7 種目において、

男女ともに全国平均を上回る結果となりました。

大阪市の中学生の体力・運動能力の課題が指摘されていますが、本校では、昨年度調査に引き続き好結果となりました。

基本的な生活習慣・運動のきっかけ

「今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。」では、「上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツを行うことができたなら」が、全国平均より 10 ポイント高く、男女ともに同じ結果でした。女子では、「友達にさそわれたら」が全国・市平均より 13 ポイント低く、自主的な運動・スポーツへの参加意識が見られます。

運動・スポーツに対する意識

「運動やスポーツをすることは得意ですか。」では、得意・やや得意を合わせて、全国平均より 18 ポイント低い結果でした。

これに関連して、「小学校 5・6 年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか。」でも、全国・大阪市より 18 ポイ

ント低い結果でした。男女ともに「運動やスポーツをすることが得意、得意だった」と答える割合は低いが、体力・運動能力は高いという実態でした。

男子では、「小学校 5・6 年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか。」では、全国平均より 14 ポイント下回りますが、現在「運動やスポーツをすることは好きですか。」において「好き」が 6 割を超え、全国平均を上回ります。中学生になり大きくポイントが上昇していることから、中学生になって運動・スポーツが好きになっているといえます。

女子では、現在「運動やスポーツをすることは好きですか。」、「小学校 5・6 年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか。」では、「好き・どちらといえば好き」を合わせ、本校は 6 割、全国・大阪市平均は 7 割で、小学校 5・6 年から中学生になっても変化が見られず、男子とは異なる結果でした。

以上の結果から、中学生になって、体力・運動能力が向上しているのは、保健体育科の授業、運動部活動における取り組みの効果が現れていると考えられます。

この結果の詳細、及び今後の取り組み等につきましては、公式ホームページ・学校評価ーに掲載してまいります。

学校協議会を開催します。

2 月 25 日（火）19：00～本校多目的室において、第 3 回学校協議会を開催します。案件は、「運営に関する計画ー最終評価ー」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」等です。傍聴をご希望される方は、当日開会 30 分前までに事務局（教頭）まで、お申し込みください。